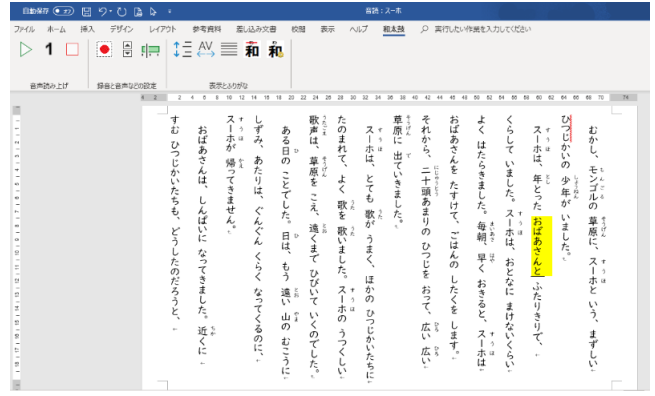


支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		平成(30)年度 文書読み上げソフトを使用した文章の聞き取りおよび音読指導 (個別指導)
授業について	教科名等	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	国語の教科書(光村図書)の題材(各児童の在籍学級における授業内容に合わせて)
	授業の目標	①聞くという手段で文章の内容理解を促す。 ②読み上げの音声に続いて音読し、文章の読みの流暢性を向上させる。
	学力の3要素	<input checked="" type="checkbox"/> 「知識及び技能」 <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」 <input checked="" type="checkbox"/> 「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input checked="" type="checkbox"/> その他(個別の取り出し指導) <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない (2)年(3)人、(3)年(2)人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子供の困難さ	<input checked="" type="checkbox"/> 見ること <input type="checkbox"/> 聞くこと <input type="checkbox"/> 話すこと <input checked="" type="checkbox"/> 読むこと <input type="checkbox"/> 書くこと <input type="checkbox"/> 動くこと <input type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他 ・単語や文章をスムーズに読むことが苦手。
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input checked="" type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) D実態把握支援(<input type="checkbox"/> D1実態把握支援) ○対象児童が在籍する学級の国語の授業で扱っている題材の文章について、苦手な「読む」という手段ではなく、「聞く」という手段を用いて内容理解に集中できるようにした。 ○文節のかたまりを視覚的に捉えやすくするため、Word文書を分かち書きで作成し、読み上げに伴う画面のハイライト表示が文節ごとに切り替わるようにした。 ○漢字が苦手な子どものために、すべての漢字にふりがなをつけた。これにより、読み上げの誤読も無くなる。
	使用した支援機器等教材の名称と画像	Microsoft Word 読み上げソフト 和太鼓(Wordaico) Ver2.01 (https://www.magicaltoybox.org/jalpsjp/wordaico/wordaico.html#adress) ※文書は指導者が作成 
授業展開	授業展開・支援の手立て	取り出しの個別指導の時間内に1回10分程度実施した。回数は児童により異なるが、いずれの児童も複数回行った。児童の状態に合わせて、1回の指導で数段落ずつ進めるようにした。 読み上げられているハイライト部分(PC画面)を見ながら、読み上げの音声を聞き、それに続いて音読するという方法で使った。指導を行った児童の中には、音読の練習に抵抗を示す子どもがいたため、その場合には、画面を見ながら読み上げの音声を聞くのみとした。画面の表示(文字の大きさ、行間の広さ、背景色など)や読み上げのスピードは、それぞれの児童がやりやすいように設定を変更した。
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	・指導の効果を評価するため、指導の前後に、文字-音変換の流暢性の課題、および文の理解課題(「LD-SKAIP」ステップⅡ読字検査)を行ったところ、5名中4名の児童において、課題成績の向上がみられた。 ・読み上げを聞いた後に文章内容に関する質問をすると、ほぼ正解した→文章内容の理解に有効であった。 ・担任教員より:授業の音読の際、ほとんど読めていなかったのが、少し読むことが出来た。